

第13回 佐賀県地域年金事業運営調整会議 議事録

開催日時：令和2年2月18日（火） 14時00分～16時00分

開催場所：グランデはがくれ 3階 天山の間

出席者：委員 8名

日本年金機構 4名

オブザーバー：県内年金事務所長2名（唐津、武雄）

議 事

1. 開会 佐賀年金事務所 稲葉 準三 副所長

2. あいさつ

・日本年金機構 佐賀年金事務所 内田 直子 所長

・日本年金機構 九州地域第一部 久保 直人 運営グループ長

3. 委員紹介

4. 議題

議題 1 令和元年度事業実施結果中間報告

資料2 第13回地域年金事業運営調整会議の3～28ページにより対前年度比等及び令和元年度の会議における主なご提言への取り組み状況について説明。

議題 2 令和2年度事業実施計画等

資料2 第13回地域年金事業運営調整会議の29～36ページ「令和2年度取組方針（案）」及び「令和2年度事業計画（案）」により説明。

議題 3 その他

「令和元年度年金セミナーアンケート集計結果」について、資料3を使用して説明。

各委員より、議題1、議題2及び議題3に関する質問・意見・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととした。

主なご意見等

【令和元年度事業実施結果中間報告について】

(平部委員長) 今回佐賀駅でチラシ配布を行ったところ、思ったよりも人通りが少なかったとお聞きしたが、次回はどこで行うのか考えているのか？

(事務局) 来年度の実施については今のところ白紙状態である。今回、配布のため佐賀駅で許可いただいた時間は、9時から12時までであったが、私どもの後には別の団体が「赤い羽根共同募金」のチラシを配布するとのことであったため、配りものをするという事ではメジャーなスポットではないかと感じた。ただ、唐津年金事務所がイオン唐津で実施された取り組みを考えると、商業施設でやった方が人出は多いのではないかと思う。チラシだけでは受け取ってもらえないため、今年度についてはクリアケースを準備して、各団体の広報用のチラシや年金協会から提供いただいたティッシュを入れたが、個数の問題等もあるため、来年度は一から検討する必要があると思う。

(平部委員長) 誰をターゲットにしているのかということと、どこで実施するかということはリンクするのではないかと思う。駅であれば通勤する方達、ショッピングセンターであれば、土日を使うのであれば別だが通勤ではない方達等、どこを狙うのかというところもあるかと思う。今、確定申告時期ですごく長く待たなければならないが、ショッピングセンターで確定申告をする市町村もあるので、待っている間何もすることがないので、他の事でも勉強しようかという気持ちになるところに乗り合わせるようなことも考えてはどうかと思ったところ。待つところということでは、一つは確定申告がそうであり、病院とかは許可を得るのは難しいと思うが、高齢の方そうじゃない方、いろいろターゲットはあると思うので、やる場所とターゲットの考えがあれば聞きたいと思った次第。

(事務局) 毎年11月30日の年金の日は、休日であっても年金相談を実施する日になっている。佐賀駅は年金事務所から近いため、当初は50歳以上の年金受給年齢に近い方をターゲットにして、年金相談を行っている旨をPRする予定であったが、思いのほか人通りが少なかったため、通り掛かりの日本人の方に配布したところ。毎月第二土曜日の年金相談は認知されているため予約も入っているが、11月30日の年金の日の開所は認知度がないため、その周知も目的としていたが想定通りにはできなかった。周知を目的にするのであれば、その周知だけに特化した人通りの多い所なのか、タイアップするのであればもっと違う形にするのか検討が必要だと感じた。今回、佐賀駅で初めてこのようなことを実施して、こういう状況であるということがわかったので、今後の参考にはなったと思う。

【令和2年度事業実施計画等】

(早田委員) 33ページの年金セミナー事業について、お尋ねと意見を申し上げたい。

33ページに記載してあるのは、若い世代をターゲットにしたセミナーであると理解している。社会保険協会が退職前の年金受給に向けたライフプラン等を含めた年金セミナーを開催されているが、そことの連携が年金機構として出来ないのか？年金協会も全国的に、特に年金受給前の人達への年金セミナーを社会保険協会とタイアップして展開しようと進めている。そのためには、企業にご協力をいただき、そのためには商工会議所の方にもご参加いただいて、いろいろな計画を進めている。年金セミナーが若い世代だけに特化されているのはどうかと思う。

(事務局) 機構本部が発出している地域年金展開事業の年金セミナーは、33ページにもありますように大学、専門学校、高等学校等の若い世代に対するものとなっており、早田委員がおっしゃるセミナーは、機構という年金制度説明会と捉えている。退職前の年金受給直前の方や新入社員の方等、対象者はいろいろであるが、おっしゃる対象者に対してオファーがあれば、社会保険協会、年金協会とタイアップして年金制度説明会を実施させていただければと思う。佐賀事務所管内で7000~8000弱ある全事業所に文書でのアプローチまではしていないが、昨年、佐賀事務所管内の大手企業何社かに対しアプローチを行ったものの、既に大手企業は自前で開催している等、なかなかオファーをいただけない状況である。

(早田委員) 体制的な問題もあるため、あまり幅を広げすぎると難しくなるので、ターゲットを絞ってお互いどのような形で連携が出来るのか、漠然と「やりましょう！やりましょう！」ではなく、より具体的にもっと話を詰めればいいと思う。

(事務局) 年金制度説明会に関しては、唐津管内で3回であるが、それ以外でも同窓会時に説明をしたりケースワーカーに障害年金説明会を行ったり、オファーがあれば喜んで説明に出向いている。

(山下委員) 毎年、年金セミナーということで50歳以上の方を対象に、日曜日に年金講習会を開いているが、年々関心が高まっている。お尋ねであるが、端末機器は日曜日でも稼働するのか？

(事務局) オンラインシステムは基本的に平日と、毎月第二土曜日の事務所開所日は稼働している。オンライン稼働日以外は難しい状況である。

(山下委員) 昨年の老後 2,000 万円問題により非常に関心が高まっている。定年期を迎え定年前後や定年後再雇用であったり真剣に悩まれており、個別に自分の場合はどうか具体的に聞きたいという需要が多い。これからは、そういった方をターゲットにしていかなければならないと思うので、タイアップして、うまくできればと思う。

(中野委員) 国民年金の第一号被保険者の方あてに国民年金基金制度の説明に行くが、そもそも公的年金制度の事をわかっていない方も多いため、上乘せの基金の話をする前に公的年金の話も併せて説明を行っている状況である。職域の組合や団体でも基本的な公的年金制度の説明、年金相談等を今後の取り組みの一つとして加えていただければと思う。

(事務局) そういった団体とのパイプがないため、国民年金基金が団体を回られるときに、必要であれば機構からも説明に伺う旨、お口添えいただければと思う。開拓したい分野であり、ご紹介いただければと思うので、是非よろしくお願いします。

(古賀委員) 先ほど同窓会での年金の説明をされたとお聞きしたが、還暦で同窓会を開催されているとよく聞く。同窓会等、宴会が出来るような施設に対し、年金について P R (チラシを渡してもらうとか) していただければ、年金の話を聴いてみるかと思われる方もいるのではないかと思います。

(事務局) 実現できるかどうか検討させていただきたい。ニーズがあるところへは可能な限り、対応したいと考えている。

(平部委員長) 佐賀大学の方でも年金セミナーを開催いただいており、正確な情報を伝えるということを意識されているため、きちんとしたフォーマットで対応されているが、今の若い方には SNS を使わないと伝わらないし、それを使うことで反応があると言われている。長期的に考えて、SNS や動画を配信する等のお考えはあるか？

(事務局) ねんきんネットをいろいろな場面で紹介しているが、ねんきんネットの ID を取得するときに携帯のアドレスを登録いただくと、携帯のアドレスに機構からのメールが届くというのはある。

(久保 G 長) ねんきんネットを広めたいところであるため、是非ねんきんネットを勧めさせていただきたい。学生や会社お勤めの方でも一覧表にして申請いただければ、まとめてアクセスキーを提供することも可能であるため、是非ご利用いただきたい。